



# 学校だより

バンクーバー補習授業校

2025年度  
第8号  
2025・6・17

## 「あきらめたら、そこで試合終了です！」

### ～ 未来への一步を踏み出すための哲学 ～

6月7日(土)午後、日本航空バンクーバー支店長様を講師としてお迎えし、中学部・高等部の生徒を対象に、令和7年度第1回キャリア講話を実施しました。

講話の冒頭、講師の先生が子どもたちに伝えたのは、「あきらめたら、そこで試合終了です」という力強い一言でした。この言葉には、自分の限界を決めず、最後まで挑戦する姿勢の大切さが込められており、生徒たちの心に強く響いたようでした。

講話では、まず日本航空の会社概要についてご紹介いただいたのち、講師ご自身の中学・高校さらには大学時代の振り返り、航空業界を志したきっかけ、そして実際の職業を通しての苦労ややりがいなどについて、具体的なエピソードを交えながらわかりやすくお話いただきました。

また、JALの再建に尽力された故 稲盛和夫氏のフィロソフィーを引用しながら、「人として何が正しいかを判断の基準とすること」「対極を併せ持つこと」など、仕事における信念や生き方、国際社会で信頼される人材となるためにベースとなる考え方についても語っていただきました。

「人と誠実に向き合うこと」「信頼を築く努力を怠らないこと」など、講師が大切にされてきた価値観や仕事への哲学は、これから社会に羽ばたいていく生徒たちにとって大きな学びの機会となったことと思います。



#### 【参加生徒の感想から】

- ・ 「あきらめたら、そこで試合終了」という言葉がとても印象に残りました。将来、さまざまな大変な経験に直面することと思いますが、どんなときもあきらめずに努力し続けたいと思いました。今、興味を持っていることに一生懸命に取り組みたいと思います。講師の先生のご経験をうかがい、常にポジティブな視点でものごとをとらえることの素晴らしさを実感しました。(高等部) ※同様の感想、多数。
- ・ 講師の先生のお話をうかがい、一つのことを継続することによって自信を持つことができ、自信をもつことによってさらに継続する力を得ることを学びました。私も、あきらめずに続けることを心がけようと思いました。また、「対極を併せ持つ」という言葉から、日本人であると同時にカナダ人である身として、どちらの美德も持つ人間になりたいと思いました。ポジティブな思考の大切さを学び、とてもためになる講話でした。(高等部) ※同様の感想、多数。
- ・ 講師の先生が考えるグローバル人材のあり方は、僕に新鮮な視点をもたらしてくれました。「日本人とカナダ人の良さを取り入れ、対極を併せ持つこそグローバル人材である」という考え方は、今までの自分にはありませんでした。もう一つ、心に残ったのは、グループの中で一つの共有された価値観・ゴールをもつことの大切さでした。今まで、グループワークをしてきて、どうしてもうまくいかなかったことがたくさんありました。そのため、今回のお話は自分にも思うところがたくさんあり、次にグループワークがあるときには活用したいと思いました。(中学部)
- ・ 「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」の公式の話聞き、とても心に響きました。もし、考え方がマイナスタったとしたら、全てがマイナスになってしまうという事に気づきました。とても難しいことかもしれませんが、「考え方」と「熱意」、「能力」の視点から、自分自身について時間をかけて考えていきたいと思いました。(中学部)